

いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

<p>◆学習のねらい 自分の好き嫌いとらわれず、誰に対しても仲間外れにしない心情を育てる。</p>	<p>◆教育課程における位置付け 特別の教科 道徳（公正、公平、社会主義）</p> <p>◆主な使用教材 ・「さるくんは だめ」（東京都教育委員会『令和3年度 東京都道徳教育教材集 小学校1・2年版 心あかるく』） ・タブレット端末</p>
--------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

展開

	学習活動（◇教師の発問）	○指導上の留意点
5分 導入	1 友達と一緒にいて、うれしかったことを発表する。	○ タブレット端末を用いて、事前アンケートを取り、気付いたことを発表させる。
展開 35分	2 教材「さるくんは だめ」を読み、話し合う。 ◇ さるくんが、「ぼくも 入れて」と言ったとき、りすさんたちは、どんな気持ちになったでしょうか。 【中心発問】しんとなってしまったとき、りすさんたちはどんな気持ちだったでしょうか。 ◇ さるくんといっしょに、みんなでケーキを作っているとき、りすさんはどんな気持ちだったでしょう。 3 学級みんなが気持ちよく生活できるために一人一人ができることを考え、伝え合う。	○ 動作化を行い、登場人物の気持ちに気付かせる。 ○ りすさんの気持ちに共感させながら、どんな相手に対しても、仲間外れにしないことの大切さに気付かせる。 ○ 自分の考えたことを発表する。
5分 終末	4 『心あかるく』16、17 ページ「ともだち」（作・谷川俊太郎）を読む。	

授業を終えて

1組

りすさんの気持ちに共感しながら、どんな相手に対しても仲間外れにしないことの大切さに気付いた。
・さるくんがいないと、ケーキをおいしく食べられない。
・さるくんも仲間に入れて、皆でケーキを作ったり食べたりしたほうが嬉しい。

2組

友達に対して好き嫌いせず、仲間はずれにしないことの大切さに気付いた。
・さるくんはおこりんぼうだけど、仲間はずれにしたら可哀想。
・さるくんも仲間に入れたほうが、皆、楽しい気持ちになる。

3組

さるくんを仲間外れにしてしまい、後悔するりすさんの心情に寄り添い考えることができた。
・さるくんも仲間に入れてあげれば良かった。
・誰か一人だけ仲間に入らずに、ケーキを作っても楽しくない。さるくんも一緒に皆で作ろう。